

令和7年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

子どもの食と栄養

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル（HB～B）で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …



(濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …



- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、味覚に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 基本味は、甘味、塩味、酸味、苦味、うま味の5つである。
- 2 離乳の開始時期は離乳食に調味料を使い、大人と同じ味付けにする。
- 3 亜鉛欠乏は味覚障害の原因の一つである。
- 4 母乳にはうま味成分のグルタミン酸が含まれている。
- 5 アミノ酸系のうま味成分と核酸系のうま味成分を足すと、うま味が強くなることを相乗効果という。

問2 次のうち、子どもの発育と栄養状態の評価に関する記述として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 成長曲線を用いて個々の成長を評価することは、疾患の早期発見に有効である。
- B 小児メタボリックシンドロームの診断基準は成人と同じである。
- C ローレル指数の計算方法は、体重 (kg) ÷ 身長 (m) ³ × 10 である。
- D 「児童生徒等の健康診断マニュアル」(平成27年改訂 日本学校保健会)によると、学童期では、肥満度が-15%以下の者を痩身傾向児と分類する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	×
5	×	×	×	○

問3 次の文のうち、たんぱく質とアミノ酸に関する記述として、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A アミノ酸スコアは食品中の必須アミノ酸（不可欠アミノ酸）のバランスを示す栄養価の指標である。
- B アミノ酸は炭素、酸素、水素、窒素を含む。
- C たんぱく質は主食の主な栄養素である。
- D たんぱく質は体内でエネルギー源として使用されない。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問4 次の表は、厚生労働省が栄養教育に活用することを勧めている6つの基礎食品に関するものである。表中の（ A ）～（ D ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

表

1 群	魚、肉、卵、（ A ）
2 群	乳、乳製品、骨ごと食べられる魚
3 群	（ B ）
4 群	その他の野菜、果物
5 群	米、パン、めん、（ C ）
6 群	（ D ）

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	大豆	いも	油脂	緑黄色野菜
2	油脂	緑黄色野菜	いも	大豆
3	大豆	緑黄色野菜	油脂	いも
4	大豆	緑黄色野菜	いも	油脂
5	油脂	いも	大豆	きのこ

問5 次のうち、「食生活指針」（平成28年 文部科学省・厚生労働省・農林水産省）の一部として、正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 食事を楽しみましょう。
- B 1日の食事のリズムから、健やかな生活リズムを。
- C 主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。
- D たばことお酒は控えめに。
- E 食べたいもの、好きなものを増やしましょう。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	×
2	○	○	○	×	×
3	○	×	×	○	×
4	×	○	×	×	○
5	×	×	○	○	×

問6 次の文は、乳汁栄養に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 調乳では月齢が変わるときに調製粉乳の濃度を濃くしていく必要がある。
- 2 母乳育児は子どもの乳幼児突然死症候群（SIDS）のリスクを増加させる。
- 3 乳児用調製液状乳（乳児用液体ミルク）は日本では製造販売されていない。
- 4 哺乳瓶の乳首の穴の大きさは1回の授乳につき30分以上で飲めるサイズを選択する。
- 5 哺乳瓶の消毒方法には、煮沸消毒、薬液消毒、電子レンジ消毒がある。

問7 次の文は「授乳・離乳の支援ガイド（2019年改定版）」（厚生労働省）に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 離乳開始前に果汁を与えることの栄養学的な意義は認められていない。
- 2 離乳初期では、離乳食を1日2回与え、食事のリズムをつける。
- 3 離乳中期には、舌でつぶせる固さのものを与える。
- 4 離乳後期では、共食を通じて楽しい体験を積み重ねる。
- 5 離乳完了期には、歯茎で噛める固さのものを与える。

問8 次の図は、幼児のスプーンの握り方を示したものである。A～Cの握り方を成長に応じた変化の順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

著作権の関係により公表できません。

（組み合わせ）

- 1 A→B→C
- 2 A→C→B
- 3 B→A→C
- 4 C→A→B
- 5 C→B→A

問9 次の文は、骨と成長に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 エストロゲンは骨密度の低下を促す。
- 2 一般的に女兒は男児より早く成長スパートを迎える。
- 3 ビタミンDはカルシウムの吸収を促進する。
- 4 骨粗しょう症予防には、子どもの時から骨量を増やし、ピークボーンマスを上げておくことが重要である。
- 5 骨のカルシウムは骨吸収と骨形成を繰り返し、常につくり変えられている。

問10 次のうち、メタボリックシンドロームの診断基準の項目として適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A ウエスト周囲長（女性） $\geq 85\text{cm}$
- B 空腹時高血糖 $\geq 110\text{mg/dL}$
- C 収縮期血圧 $\geq 85\text{mmHg}$
- D 高トリグリセライド血症 $\geq 150\text{mg/dL}$
- E 低LDLコレステロール血症 $< 40\text{mg/dL}$

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C E
- 3 B C
- 4 B C D
- 5 B D

問11 次の文は、「第4次食育推進基本計画」（令和3年 農林水産省）における「食育の推進に当たっての目標」の一部である。（ A ）～（ D ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・（ A ）に関心を持っている国民を増やす
- ・朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「（ B ）」の回数を増やす
- ・（ C ）を欠食する国民を減らす
- ・学校給食における（ D ）を活用した取組等を増やす

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	栄養	共食	朝食	世界の料理
2	栄養	外食	間食	世界の料理
3	栄養	共食	朝食	地場産物
4	食育	外食	間食	地場産物
5	食育	共食	朝食	地場産物

問12 次のうち、「保育所保育指針」第3章「健康及び安全」2「食育の推進」の一部として、(a)～(d)の下線部分が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 保育所における食育は、健康な生活の基本としての (a)「健康な心と身体」の育成に向け、その基礎を培うことを目標とすること。
- ・ 子どもが生活と遊びの中で、意欲をもって食に関わる体験を積み重ね、食べることを (b)楽しみ、食事を (b)楽しみ合う子どもに成長していくことを期待するものであること。
- ・ (c)食事の提供を含む食育計画を全体的な計画に基づいて作成し、その評価及び改善に努めること。
- ・ 体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人一人の子どもの心身の状態等に応じ、(d)保護者等の指示や協力の下に適切に対応すること。

(組み合わせ)

	a	b	c	d
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	○	○	×

問13 次の文は、子どものむし歯（う歯）に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A むし歯の原因菌は、ミュータンス連鎖球菌である。
- B せんべいやクラッカーは、市販菓子の中で、う蝕誘発性が特に高い。
- C 乳歯は永久歯に生え変わるので、歯磨きの必要はない。
- D むし歯予防に、よく噛むことは重要である。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	×	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問14 次の【Ⅰ群】の季節の行事と、【Ⅱ群】の関連する料理や食品を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 人日の節句
- B 端午の節句
- C 七夕の節句
- D 冬至

【Ⅱ群】

- ア そうめん
- イ かぼちゃ
- ウ 柏餅、ちまき
- エ 七草粥

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ |
| 2 | ア | エ | ウ | イ |
| 3 | イ | ウ | ア | エ |
| 4 | エ | ウ | ア | イ |
| 5 | エ | ウ | イ | ア |

問15 次の文は、乳幼児の鉄欠乏性貧血に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 鉄欠乏性貧血は乳児期の生後4か月以前に好発する。
- B 「授乳・離乳の支援ガイド（2019年改定版）」（厚生労働省）によると、牛乳を飲用として与える場合は、鉄欠乏性貧血の予防の観点から1歳を過ぎてからが望ましい。
- C 「授乳・離乳の支援ガイド（2019年改定版）」（厚生労働省）によると、フォローアップミルクは鉄分の多い母乳代替食品であり、離乳が順調に進んでいる場合でも、鉄分補給のために必ず摂取する必要がある。
- D レバー、赤身魚などに含まれるヘム鉄は、ほうれん草、大豆などに含まれる非ヘム鉄に比べて吸収率が高い。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	×	○

問16 次のうち、「保育所における食事の提供ガイドライン」（平成24年 厚生労働省）第2章における保護者支援の役割の記述として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 入所している児童の保護者への支援としては、保育所における食事、情報の提供及び相談等がある。
- B 子どもにとっての食事は、家庭と保育所を切り離して考え、それぞれが責任をもって栄養管理を行うため、一人一人の家庭での食事は把握する必要がない。
- C 保育所における食事の考え方については事前に保護者に説明し理解を得ることが大切である。
- D 入所していない地域の子育て家庭においては、食事に関する情報提供や相談などの支援をする必要はない。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	×

問17 次の文は、「加工食品の食物アレルギー表示ハンドブック」（令和6年3月一部改訂消費者庁）に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 容器包装に入れないで販売する食品は、特定原材料の表示義務が課されている。
- 2 くるみは、特定原材料に含まれない。
- 3 落花生（ピーナッツ）は、特定原材料に準ずるものに含まれている。
- 4 特定原材料等の範囲として、枝豆、大豆もやしは大豆の対象範囲に入らない。
- 5 バターは乳の代替表記として認められている。

問18 次の食品のうち、嚥下が困難な子どもが誤嚥しやすい食品として、最も適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- A 絹ごし豆腐
- B 食パン
- C ポタージュ
- D ヨーグルト
- E お茶

(組み合わせ)

- 1 A D
- 2 B C
- 3 B E
- 4 C D
- 5 D E

問19 次の文は、体調不良の子どもへの対応に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 脱水症の症状として、口唇の乾燥、皮膚の弾力性低下などがある。
- B 急性下痢の原因の多くは、ウイルス性である。
- C 下痢では、水分の喪失はあるが、電解質の喪失はない。
- D 嘔吐後の水分補給は、様子をみながら少量ずつ数回に分けて与える。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問20 次の文は、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン（2019年改訂版）」（厚生労働省）の食物アレルギーへの対応に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 食物除去は、子どもの成長の観点から、原因食品の段階的な部分除去を基本とする。
- B 除去していた食物を解除する場合は、医師の指示に基づき、保護者と保育所の間で書面申請をもって対応する。
- C 子どもが初めて食べる食品については、保育所で安全に食べられることを確認してから、家庭で提供を開始することを基本とする。
- D 誤食の主な発生要因の一つとして、人的エラー（いわゆる配膳ミス（誤配）、原材料の見落とし、伝達漏れ）がある。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	×	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○